

第 1 回職業能力開発審議会での主な意見とその対応について

項目	意見	対応(案)
【入校生確保】	<p>(PR動画)</p> <p>1. PR 動画は様々な方法で見ることができる工夫が必要(杉藤委員)</p> <p>2. リーフレットから動画(You Tube)を見ることができる仕組み作り(大井委員)</p> <p>(パンフレット)</p> <p>3. 新しくなったトイレや空調設備について、わかりやすくアピールすることが必要(森委員)</p> <p>4. 入校対象者や保護者の目線に立ったPRが重要(森委員)</p> <p>5. 3Kのイメージを払拭することが必要(森委員)</p> <p>6. パンフレットは堅い印象(川村委員)</p> <p>7. キャッチフレーズの改善が必要(二宮委員)</p> <p>8. 就職後のイメージができる内容をパンフレットに記載すべき(二宮委員)</p> <p>(その他)</p> <p>9. Uターンや退職後の方にも学校をPRすべき(吉門委員)</p> <p>10. 広報予算を多く取ることを検討すべき(大井委員)</p> <p>11. 就職率を上げることも大事だが、あまり年齢にとらわれなくてもいいのではないかと(大井委員)</p>	<p>○中村校のPR動画は、現在YouTube、学校HPで視聴可能。</p> <p>新 高知校も各訓練科の説明動画を今年度中にYouTube、学校HPで視聴できるようにする予定</p> <p>新 令和3年度募集から、リーフレットに視聴可能なQRコードを掲載</p> <p>拡 意見をふまえたうえで、パンフレットを作成【資料2で説明】</p> <p>○ハローワーク訪問者に対するパンフレット配布や雇用保険説明会でのPR</p> <p>○高知暮らしフェアでのPR</p> <p>拡 令和3年度予算において、PRにかかる予算を要求中</p> <p>○年齢制限の見直しについて検討【資料4-1、4-2で説明】</p>

項目	意見	対応(案)
【入校生確保(続き)】	12. 在校生の年齢構成を教えて欲しい。離職者が入校するケースが少ないのではないか。入校時期が年間2回程度あったほうがよいのではないか。(田鍋委員)	<p>○在校生の年齢構成については、【参考資料】のとおりであり、若い人が中心になっている。</p> <p>○離職者向けに、ポリテクセンターがものづくり系の訓練を10月開始で実施しているほか、中村校では6月開始の住宅リフォーム科を実施している。また、民間教育機関に委託して実施する委託訓練も年間を通じて、随時行っている。</p> <p>○一方で、学卒者訓練について、開始時期を分けて実施することは、体制や設備、予算の面からハードルが高い。</p>
【訓練カリキュラム】	13. 道徳やマナーといった人間性を向上させる訓練を行うことも重要(森委員)	<p>○各種マナー講座や社長、採用担当者、修了生による講話の実施。</p> <p>○朝礼時におけるスピーチの実施。</p> <p>○インターンシップの実施</p>
【就職関係】	<p>14. 職業訓練ニーズの高まりを受け、企業ニーズに合っているかの検討が必要(森委員)</p> <p>15. 定着率の把握や就職後のフォローアップ体制を充実すべき(森委員)</p> <p>16. 就職率が100%という「安心感」の提供や早期離職者に対する再就職先の斡旋が大切(二宮委員)</p>	<p>○業界団体等に対して、高等技術学校に関するアンケートやヒアリングを実施【資料3で説明】</p> <p>○高知校では、修了後3年間、定着率調査を実施している。</p> <p>● 中村校でも同様の取組を実施。</p> <p>● 修了後でも、困ったときは学校を頼ってくるよう、在校時から声掛けしていく。</p> <p>● 就職率の高さは積極的にPRしていく。</p>